

ほーほーどり

我孫子野鳥を守る会

No. 225

2012年

3～4月号

行 事 案 内

3月手賀沼探鳥会とカウント

期 日 3月11日(日) 雨天中止
集 合 我孫子市役所 午前9時
案 内 忘れられない日ですが、冬鳥を観察するラストチャンスです。この頃目立つカムリカイツブリの夏羽を探すなどしてみましょう。また、小鳥類にも何かいるかもしれませんね。
解 散 正午
担 当 松田

数多くの冬鳥や水鳥が期待できません

持 物 観察用具、雨具、防寒具、昼食(途中購入可)
交 通 自家用車分乗。車を提供可能な方は申込の際、その旨ご連絡下さい。分乗者は運転者に一人@1,500円をお渡し下さい
申 込 野口隆也まで
Tel 04-7163-7898
担 当 野口(隆)、松田

4月手賀沼探鳥会とカウント

期 日 4月8日(日) 雨天中止
集 合 我孫子市役所 午前9時
案 内 冬鳥から旅鳥・夏鳥への入れ替わりの季節です。どんなカモが残っているのでしょうか。カムリカイツブリの頭の色は変化しているのでしょうか。注意深く観察しましょう。
解 散 正午
担 当 佐々木

葛西臨海公園探鳥会

期 日 4月22日(日) 雨天中止
集 合 我孫子駅改札口 午前8時
案 内 ここ数年春の定例となった葛西臨海公園は、水辺の鳥、山野の鳥の両方が期待できます(ミヤコドリはいつも観察できています)。
持 物 観察用具、雨具、昼食(途中購入可)
交 通 我孫子駅午前8:07 発千代田線(代々木上原行)で新松戸乗換え、8:25 発武蔵野線(東京行)で葛西臨海公園駅へ9:00着。
申 込 松田幸保まで
Tel 04-7182-8307
担 当 松田、野口(隆)

北本自然観察公園探鳥会

期 日 3月25日(日) 雨天中止
集 合 我孫子駅北口 午前7時30分
案 内 ベニマシコ、ルリビタキその他、

3月幹事会案内

日時 3月11日(日) 13:30~16:00
場所 水の館 3F 研修室
議題 総会提出資料の検討
23年度活動報告及び決算案
24年度事業計画及び予算案
会報 226号記載記事について
40周年記念事業関係
井頭公園探鳥会・記念講演会・
記念写真展・記念パーティー・
記念誌データ編・記念誌一般編
その他 議題を提出の場合は事
務局にご連絡ください。)

平成 24 年度定期総会

日時 4月8日(日) 13:30~16:00
場所 水の館 3F 研修室
議題 平成 23 年度活動報告、同決
算報告
平成 24 年度事業計画案、同
予算案
その他

23年度の成果と反省を総括し、24年度の活動方針等を決める総会です。できるだけ多数の会員の出席をお願いし、活発な総会になるよう期待いたします。

< 40周年記念事業関係 >

記念写真展

テーマ 会員の写真で綴る 40年

手賀沼周辺に現れた珍しい鳥・身近になった野鳥及び会の活動

- A 手賀沼周辺に現れた珍しい鳥・身近になった野鳥約 50 種を「我孫子野鳥を守る会写真集」等より展示
- B 会の活動の写真約 120 点、本写真展用に会員から提供された写真を展示
- C 「手賀沼ピオトープの鳥たち」～1999年5月から13年間の鳥類調査より～
- D ほーほーどり第1号、20周年記念誌「手賀沼の鳥」等の出版物

日時 平成 24 年 3 月 13 日(火)～18 日(日) 9:30～16:30

初日 13 日は 13:00 から開場

会場 けやきプラザ 2 階 第 2 ギャラリー

主催 我孫子野鳥を守る会 後援 我孫子市教育委員会

担当 染谷、北原、吉田(隆)、谷山、大久保、古出

<お願い> 写真展期間内の会場のお手伝いをお願いしたいと思います。

お手伝い可能な日、午前、午後などを、事務局の染谷までお願い致します。

記念講演会

講演テーマ アホウドリ 絶滅の危機から回復へ

- 衛星追跡から判った行動圏 -

北半球最大の美しい海鳥 アホウドリ。

かつて、数十万羽がいたと考えられていますが、羽毛採取のための乱獲が原因で、一時は絶滅されたと見られていました。現在では地道な保護活動により 10 数羽から 2700 羽を超えるまでに回復しました。これまでの保全活動の全容をお話いただきます。

友人、知人をお誘いあわせのうえご参加下さい。

日時 平成 24 年 3 月 18 日(日) 13:30～15:00(受付 13:00～)

講師 尾崎清明氏 (財)山階鳥類研究所副所長・保全研究室室長

会場 手賀沼親水広場 水の館 3 階研修室

定員 先着 150名 (入場無料)

主催 我孫子野鳥を守る会 後援 我孫子市教育委員会

担当 小玉、松本

記念パーティー

我孫子野鳥を守る会は、今年創立 40 周年 (1972 年 3 月 2 日創立) を迎えることになりました。

同じ志を持って集まり、一つの団体を立ち上げ、40 年もの間、活発な活動を続けられるのも、会を創立し今日まで、会の存続運営にたゆまぬ努力を払われた多くの諸先輩のおかげだと思います。感謝の念を持って、これからの会の一層の発展を祈願して、下記の通りご案内いたします。会員及び家族会員の方々多数のご参加をお願い致します。

日時 4 月 14 日 (土) 13:30 ~ 15:30

会場 我孫子南近隣センター ホール (けやきプラザ 9 階)

案内 JR 常磐線我孫子駅南口徒歩 1 分 <立食形式>

参加費 男性 3,500 円、女性 3,000 円 (当日会場で支払い)

申込先 染谷迪夫 TEL/FAX 04-7182-3972

(申込み締切日 4 月 7 日)

行事報告

12 月手賀沼探鳥会

調査日時 2011.12.11 9:00~12:00

晴 風弱 気温 11

今年最後の定例探鳥会、40 種の鳥が現れました。なかでも人気のカワセミ、タゲリそしてミサゴが間近に観察され久しぶりに満足できる探鳥会だったと思います。しかし、上沼では水上スキーがわがもの顔で湖面を荒らしまわり、水鳥がほとんど姿を消しています。あのモーターボートと水上スキーを見ると怒りさえ覚えます。

< 認めた鳥 >

カイツブリ、ハジロカイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、コブハクチョウ、マガモ、カルガモ、コガモ、オカヨシガモ、ヒドリカモ、オナガガモ、ミコアイサ、ミサゴ、トビ、ノスリ、チュウヒ、チョウゲンボウ、バン、オオバン、タゲリ、ユリカモメ、セグロカモメ、カワセミ、ハクセキレイ、タヒバリ、ヒヨドリ、モ

ズ、ウグイス、セッカ、メジロ、ホオジロ、アオジ、オオジュリン、カワラヒワ、スズメ、ハシボソガラス、ハシブトガラス

計 40 種 番外 ニワトリ

< 探鳥班 >

肥後邦彦、野口隆也、野口洋子、石橋勇、川越久枝、金子幸子、新山隆春、藤井正吾、栗田励、池田日出男、浅井久、佐々木隆、田中恒雄、間野吉幸、宮下三禮、松本勝英、松本葉子、川村美恵子、中野久夫、村松寿夫、小玉文夫、猪爪敏夫、榎本右、常盤孝義、田丸喜昭、松田幸保、西嶋昭生、六角昭男、小林孝夫、武藤康之、野口紀子、天野正臣、天野睦子、植田啓介、船津登、岩田孝之、岩田マキエ、成田奈穂、成田菜、成田遥、相良直己、鈴木静治、橋本清

(担当) 北原建郎 参加者 44 名

< カウント班 > 木村稔、田中功、染谷迪夫

調査日時 2011.12.11 9:20 ~ 12:15

晴 9

調査種	上沼	下沼	合計
カイツブリ	1	2	3
カンムリカイツブリ	14	14	28
カウ	30	170	200
ダイサギ	3	3	6
コサギ	6	4	10
アオサギ	9	6	15
コバクチョウ	9	9	18
マガモ	0	14	14
カルガモ	37	3	40
コガモ	45	0	45
オナガガモ	4	0	4
ヒドリガモ	12	8	20
オナガガモ	0	49	49
ホシヅメ	0	2	2
ミコアイサ	1	3	4
オバン	13	14	27
タシギ	0	1	1
ユリカモメ	28	29	57
セグロカモメ	1	1	2
合計	213	332	545

1月手賀沼探鳥会

調査日時 2012.1.8 9:00~12:00

晴 やや強風 気温 8

すっきりとした冬晴れですが、風がやや強く体感温度は低く感じられる一日でした。新年最初の定例探鳥会でしたが、風が強いため手賀沼の水面も波がたち、波間にミコアイサが少し見られるくらいで、カモはほとんど見当たりませんでした。いつもの上沼ミサゴも今日はどこかへお出掛けの様子でした。そんな中でも、カワセミが上沼と下沼それぞれでコバルトブルーのキレイな姿を見せてくれました。

<認めた鳥>

カイツブリ、カンムリカイツブリ、カウ、ゴイサギ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、コバクチョウ、マガモ、カルガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ミコアイサ、ハヤブサ、チョウゲンボウ、キジ、バン、オオバン、タゲリ、ユリカモメ、セグロカモメ、キジバト、

カワセミ、アリスイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、タヒバリ、ヒヨドリ、モズ、ツグミ、メジロ、ホオジロ、アオジ、オオジュリン、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス 計 39種

<探鳥班>

肥後邦彦、村瀬和則、佐々木隆、栗田励、田中悟、北原建郎、宮下三禮、小玉文夫、間野吉幸、野口隆也、常盤孝義、田丸喜昭、田丸メリールイス、猪爪敏夫、村松寿夫、田中恒雄、松下勝子、小林秀美、神谷健次郎、野口紀子、川村美智子、松本葉子、松本勝英、天野正臣、天野睦子、六角昭男、岩田孝之、岩田マキエ、船津登、玉井修一郎、小林博之、西嶋昭生、古出洋子、榎本右、鈴木静治
(担当) 桑森亮 参加者 36名

<カウント班> 木村稔、田中功、染谷迪夫

調査日時 2012.1.8 9:20~12:05

晴 風弱~中 5

調査種	上沼	下沼	合計
カイツブリ	4	0	4
カンムリカイツブリ	1	0	1
カウ	7	17	24
ダイサギ	2	0	2
タシギ	1	2	3
コサギ	0	3	3
アオサギ	16	1	17
コバクチョウ	21	8	29
マガモ	0	36	36
カルガモ	30	5	35
コガモ	64	37	101
オナガガモ	2	1	3
オナガガモ	0	135	135
ホシヅメ	0	3	3
ミコアイサ	3	3	6
バン	3	0	3
オバン	18	21	39
タシギ	0	1	1
ユリカモメ	1	0	1
セグロカモメ	0	1	1
合計	180	279	459

涸沼探鳥会

12月25日

涸沼探鳥会に参加して

天野睦子

12月25日、日本海側では大寒波だということに、ここ東日本では冬晴れ快晴のもと平成23年最後の探鳥会に参加いたしました。

A M8:00 田丸ご夫妻の車に同乗させていただき出発。筑波山の山並みを左手に眺め、道すがら探鳥スポットのご案内等もいただきながら、和やかな雰囲気です。水鳥やワシ・タカ類が判らない私共に、“競争ではないのだから楽しめば良いのよ”との奥様のお言葉で気持ちも軽くなり、一日をエンジョイする事にしました。

弁天島網掛公園にて、

“今日はシジミではなく、鳥見ですよ”と会長的一声に笑い、なごやかに探鳥開始。湖面はハジロカイツブリの群、ムレ・ムレ。縦列に進んでいたかと思うと、あっという間に一斉に潜るダンス？の繰り返し。更にスズガモ軍団の青く澄んだ空への飛翔。“ミサゴですよ”はるか彼方杭の上、白い帽子が見えました。上空には、“トビの鷹柱”というのでしょうか28羽も舞っています。そして“オカヨシガモ”は黒パンツ。なるほど特徴を掴むと覚えやすいですね。快晴の中、青い澄んだ空、青い湖面を背景に、空中・水上ショウ。まるで水鳥の饗宴を観ている感がありました。

さて、草地に目を転じると、石垣から小川を見ているカワセミです。梅の梢にはモズ、お腹が網目だからと教えられました。田んぼの水溜り場にはタシギ7羽確認、こんなに多いのは珍しいとのことでした。ラッキー！

涸沼苑にて

途上、運転中の田丸さん、電柱に止まることが多いと言った矢先にノスリ発見、両肩の面には、ホウジロガモ、ミコアイサ(パンダガモ)黒白の対比どちらもとても可愛い。会えてよかった！帰路予約していたシジミを購入、さすがブランド、大粒で味良く、正月に美味しくいただきました。

霞ヶ浦にて

1年ぶり“ヨシガモ(ナポレオン)”との再

会です。帽子の緑が鮮やかに美しく輝いています。来年も絶対来てね！幸運にも快晴に恵まれた今年最後の探鳥会、空中・水中ショウを披露してくれた野鳥達に感謝、来年に希望を繋ぐ探鳥会でした。田丸ご夫妻・スコープを覗かせていただいた皆様ありがとうございました。

追記：涸沼周辺には未だ震災の爪痕が散見され、早い復興が望まれます。

【幹事報告】

涸沼探鳥会はとり見であって、しじ見ではない。しかし、涸沼のしじみは大粒で人気がある。帰って食べたが、たいへん美味である。それはさておき、メインの探鳥会ですが47種の鳥を認めました。なかでもハジロカイツブリの大群、そして多くのホオジロガモを観察しました。寒波襲来とのことでしたが、それほど寒くなく比較的穏やかな一日でした。鳥合わせの後間野会長のご挨拶、そして田丸さんの一本締めで無事今年の行事も終了しました。

< 認めた鳥 >

カイツブリ、ハジロカイツブリ、ミミカイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、コブハクチョウ、マガモ、カルガモ、コガモ、ヨシガモ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、スズガモ、ホオジロガモ、ミコアイサ、ミサゴ、トビ、ノスリ、ハヤブサ、チョウゲンボウ、バン、オオバン、タゲリ、タシギ、セグロカモメ、カワセミ、コゲラ、ハクセキレイ、タヒバリ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、アカハラ、ウグイス、シジュウカラ、メジロ、アオジ、スズメ、ムクドリ、ハシボソカラス、ハシブトカラス、計47種

< 参加者 >

鈴木静治、間野吉幸、松本勝英、田丸メリー、田中功、小玉文夫、小玉信子、猪爪敏夫、桑森亮、松田幸保、肥後邦彦、小林秀美、大久保陸夫、中野久夫、金子幸子、川越久枝、天野正臣、天野睦子、浅野利幸、中根忠、中根洋子、古賀嗣朗、佐々木隆（幹事）北原建郎、田丸喜昭 計25名

小見川・神之池・江戸崎探鳥会
1月3日

～水鳥とワシタカの豪華ショウを堪能～
田中恒雄

新春探鳥会は昨年続き二度目の参加である。小生、やや方向音痴なので、便乗ドライブは楽しいが、さて何処をどう走ったかについて問われると満足に説明ができない。肝心の鳥についても、例えば神之池で初めて見た遠い対岸のアメリカヒドリは今でも鮮明に覚えているが、大抵の野鳥は1年も経過すると認識が薄れ記憶も定かでなくなる。今回は探鳥の経路に沿った鳥との出会いを再確認するためでもある。薄日の射す朝、祝賀の挨拶とともに好天の探鳥日和に期待を込めた言葉を交わしながら、参加者20名は駅北口から目的地へ向かった。

6号線から利根水郷ラインに入っすぐ右側の乾田にタゲリらしきものが目に入る。同乗の女性がタゲリと教えてくれた。対岸に並ぶ家々の中には、大震災で被害を蒙ったままの屋根が点在し、改めて胸が傷む。小見川大橋周辺の最初の探鳥スポットで先ず目に入ったのが正面の電線に居並ぶ70～80羽のムクドリの群れであった。双眼鏡を向けると、後ろで「ホシムクドリが居るかも。欲張ってギンムクドリも。」との女性の声が耳に入り、群れの端から丹念に観察したが、全てムクドリだった。茨城県側の広々とした葦原の上空にノスリとトビが現れた。トビは思いのほか低空飛行である。チュウヒが現れると、一斉にシャッターを切る音がして、人が動いた。2羽のカラスに追われたノスリは、杭の上で一時小休止した後畔道に降り、動きを止める。冬の薄日がやがて厚い雲に遮られ、冷たい北風が吹き始めた。「ハイロチュウヒだ。」の声でその方向にレンズを向けると、川を越えて千葉県側に向かって飛び去るチュウヒの姿が目に入った。

車は第二のポイント「神之池」を目指して北へ向かう。池は位置的に鹿島灘、外浪逆浦および利根川に近く、水鳥の格好の休息場所であることが分かる。陽射しが持ち直してきたようである。駐車場から池の南岸に沿って

西方向を見ながら進む。数百羽あるいはそれ以上のオナガガモが、さらに足を伸ばすと沢山のカルガモが集まっていた。ここで引き返し南岸を東方向に進むと、見知らぬバードウォッチャーが双眼鏡を覗きながら、「つい数日前には沢山居たのに。」と呟いている。ミコアイサのことだと思い、対岸の水面を注視した。他の水鳥と一緒にゆっくりと左へ動く雌のミコアイサが直ぐ目に入ったが、雄が見当たらない。その直後であった。マガモの大集団が、続いてオナガガモとコガモの群れが鮮やかな色彩を纏って視界に入ってきた。彼らの進行方向が少し変わったらしい。雄の頭部の緑色は濃い紫に、やがて黒色に変わる。恰も光のスペクトルを巧みに捉え、装っているかのごとくに見える。彼らのこの変幻自在な発色の妙は息を呑むほど美しく、何とも名状し難い。青い冬空と鹿島臨海工業地帯のモダンな煙突を背景に数百羽のカラスが賑やかに集まっていた。アップで捉えたカラスの頭部は少しいかついが、威厳がありそうにも見えた。ミヤマガラスと教えられた。

車は神栖市から江戸崎へ向かう。途中の土手道にはあちこちでロープが張られ、通行止めの箇所もあり、道路が波打っている。大震災の爪跡である。浮島で昼食を採った後、ホシムクドリの居るポイントへ向う。道すがら電柱が大きく傾いている。牛舎の敷地内にある梅檀の木を目当てにその周辺を車中から観察したが、確認は出来なかった。オオヒシクイの居る第三のポイント小野川ベリへ向かい、堤防付近の観察舎の近くに駐車する。土手の上から無数のオナガガモがのんびりと羽を休めているのが見えたと思いきや、一斉に空中に舞い上がった。モーターボートが遡上してきたのである。陸に目をやると数十羽のオオヒシクイが休んでいる。中ほどの1羽がゆっくり左へ動いている。草丈が昨年より短く、距離も近いせいか良く見えるのが嬉しい。群れの端から右へ15m位離れた畔道に若い1羽のハヤブサが背中を見せてじっとしていた。鳥達が飛び立った時に幼鳥を狙って襲うのであろうか。しかし車に戻って暫くしても動きがない。チョウゲンボウがすぐ近くの低い杭の上で休んでいる。管理人らしい老人が、「こんな近い距離に来るのは人に長く飼われた籠脱げ鳥だ。」などと話してい

た。

今回の探鳥会は、彩りも鮮やかな水鳥たちや、ノスリ、チュウヒ、ハヤブサなどの猛禽に出会い、手賀沼周辺では得難い貴重な体験をすることができた。最後にこの探鳥会でお世話になった幹事や会員の方々に厚くお礼申し上げます。

【幹事報告】

小見川の利根川堤防は昨年と異なり冷たい風が吹いていましたが、チュウヒがよく飛んでくれました。神之池では下見の時には多かったミコアイサ が少なくなっていて拍子ぬけしましたが、代わりにミヤマガラスの群を、江戸崎では70羽以上のオオヒシクイが休んでいる姿を、我慢できない寒さの中でじっくり見られました。

最後まで寒さに耐えた探鳥会、お疲れさまでした。

<認めた鳥> カイツブリ、ミミカイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、ヒシクイ(亜種オオヒシクイ)、コブハクチョウ、マガモ、カルガモ、コガモ、ヨシガモ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ハシビロガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、スズガモ、ミコアイサ、ミサゴ、トビ、オオタカ、ノスリ、チュウヒ、ハイイロチュウヒ、ハヤブサ、チョウゲンボウ、オオバン、シロチドリ、タゲリ、ハマシギ、イソシギ、タシギ、セグロカモメ、キジバト、カワセミ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、タヒバリ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、ツグミ、オオジュリン、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ミヤマガラス 計 52 種 番外カワラバト

<参加者> 小玉文夫、宮下三禮、田中恒雄、田中功、金子雅幸、中根忠、中根洋子、間野吉幸、池田日出男、新山隆春、藤井正吾、松本勝英、村松寿夫、丸嶋紀夫、大久保陸夫、猪爪敏夫、肥後邦彦、松下勝子 (幹事) 桑森亮、松田幸保 計 20 名

モダンアートのようなシノリガモ!

野口洋子

正月恒例の銚子カモメ探鳥会に参加をした。寒さ対策に熱々の生姜茶をポットに詰め、我孫子に着くと、いつもの面々の笑顔。年が改まったせいか、なんだか懐かしい感じがする。利根川沿いの道から 356 号線を一直線に進む。

布佐あたりから、護岸工事や未補修の瓦屋根のブルーテントが目立ってくる。復旧は簡単には進んでいない様子だ。

車は順調に進み、二時間半程で銚子港第一ポイントに到着。突堤を見ると、ものすごい数のカモメが長い堤にひしめいている。一瞬だがゾクッとしてあの有名な映画を思い出した。カモメはセグロ、オオセグロ、ウミネコ等が混在しているそうだが、私には同じに見え困っていると、会長さんが凶案化した見分け表を見せて下さり、そのコツを教えて下さった。なるほど、足、嘴、背中順に色や模様を見ていくと分かり易い。珍しいホイグリンカモメも見ることができた。空にはカモメやトビが旋回している。スケートのスパイラルを見るようで気持良かった。

次は千人塚に移動。オカヨシガモが逆立ちして餌を採る姿がユーモラスで可愛い。出色はシノリガモ。黒味を帯びた茶色に白い斑と模様がモダンアートを思わせる美しさだった。カルガモが空気を取り込み丸くなっていた。

昼食後第三ポイントに移動。レースの首輪が特徴の大ぶりのコクガン、クロサギがいた。なんと白いクロサギもいると聞いてびっくりした。外川漁港へ移動中、諦めかけていたイソヒヨドリが屋根に止まっていた。灰色がかったブルーの羽根、深いレンガ色の腹、なんてシックな配色だろう。帰り際に 鳥くんの情報で背の低いカナダカモメが見られたのはラッキーだそうだ。

とにかく天候も良く、大盤振る舞いの 55 種の鳥が出てくれ、直販所で買ったヒラメの刺身も上々で、春から縁起の良い一日となった。

幹事さんはじめ参加の皆さん、有難うございました。

【幹事報告】

今日は早朝から、風もなく、薄曇で探鳥日よりでした。ホイグリンカモメ、など現れてほしいカモメも出てくれて、よかったですと思います。丁度、銚子に来ていた当会員の情報でカナダカモメまで見られました。これもひとえに参加者皆さんの日頃の善行の賜物とおもいます。

<認めた鳥> カイツブリ、ハジロカイツブリ、ミミカイツブリ、アカエリカイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、ウミウ、ヒメウ、ダイサギ、コサギ、クロサギ、アオサギ、コクガン、ゴブハクチョウ、マガモ、カルガモ、コガモ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、アメリカヒドリ、オナガガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、スズガモ、シノリガモ、ミサゴ、トビ、ノスリ、チュウヒ、ハヤブサ、チョウゲンボウ、オオバン、タゲリ、ミユビシギ、イソシギ、ユリカモメ、セグロカモメ、オオセグロカモメ、シロカモメ、カモメ、ウミネコ、ミツユビカモメ、ホイグリンカモメ、カナダカモメ、キジバト、ハクセキレイ、ヒヨドリ、イソヒヨドリ、ツグミ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、クロガモ 計 55 種 番外カワラバト

<参加者> 肥後邦彦、野口紀子、野口洋子、野口隆也、古賀嗣郎、古賀道子、間野吉幸、今村のぶ明、小島昭江、山本貞江、池田日出男、北原建郎、桑森亮、中野久夫、金子雅幸、松本勝英、大久保陸夫、鈴木静治、渡邊成(幹事)小玉文夫、染谷迪夫 計 21 名

第 21 回手賀沼ふれあい清掃

・美手連統一クリーンデイ

12 月 4 日

年末恒例の手賀沼ふれあい清掃と美手連の統一クリーンデイが実施されました。

日 時 平成 23 年 12 月 4 日(日)

晴 北西風 強 9:00~11:20

集合場所 手賀沼公園 多目的広場

清掃エリア 手賀沼ふるさとコース

<参加者> 猪爪敏夫、佐々木隆、間野吉幸、坂巻宗男、野口紀子、宮下三禮、染谷迪夫、木村稔、野口隆也、松田幸保 計 10 名

総参加人数(各団体・市民): 約 350 名

お土産: エコバック、粉石鹸、水きり・三角コーナーセット、お茶(ペットボトル)など

芋煮会

12 月 18 日

第 29 回目の芋煮会は晴れて風もなくおだやかな芋煮会でした。

なんと! 29 回も雨もなく連続開催です。参加の皆さんは神様みたいな方々です。

最後に皆さんが持ち寄ったものを競りにかけ、盛況のうちに完売しました。

日 時 平成 23 年 12 月 18 日(日)

10:00~14:30

場 所 五本松公園キャンプ場

<参加者> 常磐孝義、野口隆也、野口洋子、田中恒雄、宮下三禮、松田幸保、北原建郎、田中功、染谷迪夫、六角昭男、船津登、古出洋子、小玉文夫、小玉信子、小林寿美子、桑森亮、川越久枝、金子幸子、猪爪敏夫、首藤佑吉、木村稔、野口紀子、野口紀恵、鈴木静治、松本勝英、松本葉子、佐々木隆、間野吉幸、松下勝子、金子雅幸、西嶋昭生、岸田孝之、石川綾香、渡邊成、和田朋之、高橋敏彦、大久保陸夫、島崎純造 計 38 名

<メニュー>

料理: 芋煮、やきとり、鉄板焼き(やきそば) やきいも、参加者手製料理等。

飲み物: ビール、日本酒、ワイン、焼酎、ジュース、お茶等

1 月幹事会報告

日 時 平成 24 年 1 月 8 日(日)

13:30~16:30

場 所 水の館 3F 研修室

議題 1 40 周年記念行事進捗状況について
各担当リーダーから報告

(1) 記念誌データ編(報告者: 田中功)

2月上旬には完成する見込み。予算額以下で出来上がる見込み。

(2)記念誌一般編(報告者:野口隆也)

2月末には完成の見込み。

記念誌(データ編、一般編)は会員には無料配布予定。

配布方法は編集メンバーに一任を了承。

(3)井頭公園探鳥会(報告者:猪爪敏夫)

現在、会員20名、一般9名の申込み。

引き続き募集を継続。

(4)記念公開講演会(報告者:小玉文夫)

山階鳥研の尾崎清明副所長に趣旨説明し、3月18日で承諾され決定。会場は

水の館研修室、時間は13:00~15:00。

定員は150名。

(5)記念写真展(報告者:染谷迪夫)

3月13日~18日までけやきプラザ2Fギャラリー開催決定。300枚の写真を選定し、印刷中。ピオトープ調査データをA1パネル6枚程度で展示予定。

(6)記念パーティ(報告者:染谷迪夫)

会場はけやきプラザ9階を前提に準備を進める。

開催日の第一候補は4月14日(土)

2月中旬までには決定の見込み。

(7)広報対応(報告者:野口隆也)

記念誌2誌の発行、講演会及び写真展の開催について柏記者クラブ・地元ミニコミ誌に記事掲載を要請。

議題2 ほーほーどり225号記載予定記事
松本幹事が資料によって提案、確認。原稿締め切りは1月末日。

議題3 第3四半会計報告

鈴木会計担当幹事が資料に沿って報告し、了承。

特記・40周年記念事業予算で、インク代などは、その他雑費として別途精算。

議題4 検討・報告事項(間野会長が報告)

(1)美手連関係 1月23日開催の「冬鳥とハスを舟から見よう」は間野会長、野口副会長、松本幹事で対応する。

(2)「民が民を支えるしくみ構築モデル事業・東葛地域」への参加を提案。協議の結果了承。県に申請の方向。

(3)「亀成川を愛する会」から協力依頼の対応。間野会長、松本幹事、木村名誉会長で対応する。

(4)その他

・2月7日開催の「手賀沼の水生植物等に関する講演会」について紹介

・1月21日開催の「手賀沼と冬鳥、舟とウォーキングによるツアー」担当に宮下副会長と古出幹事を追加。(染谷事務局より提案)

議題5 その他

・柏市の「市民公益活動団体」登録について野口副会長が資料に沿って、説明。協議の結果、登録の方向。支部設置に伴う諸々の作業は野口副会長が担当。

40周年記念誌の内容要旨および進捗状況

[データ編]

平成24年3月に当会設立40周年を迎えるにあたり、その記念行事の一環として、当会モニュメントの一つとなっている30周年記念誌「手賀沼の鳥」に引き続き、新たに40周年記念誌「手賀沼の鳥」を発刊することとなりました。これに備えて編成された「編纂委員会」において、1年有余の時間とエネルギーを掛け、闊達で精力的な議論と推敲を重ね、この度、やっと脱稿し、今年3月に上梓出来る運びとなりました。会員の皆様には、3月中に配布させていただく予定です。この本の内容要旨の概要は次の通りです。かねてから減少が懸念されてきた手賀沼の水鳥について、特に、直近10年間における減少は深刻で、30周年記念誌「手賀沼の鳥」時点で比べ更に悪化していることが、データによって明らかになってきました。美しく自然あふれる手賀沼の環境と、そこに生息し環境を代表するメルクマールの一つとしての鳥達を、40年前からずっと見続け、定点観察を定期的連続的に行ってきた当会の先輩諸氏のおかげで、この40年間に集積されたデータは膨大なものとなっています。「手賀沼の鳥」では、これら膨大なデータを整理、分析し、纏めを行い、『そこから見えてくるもの』を、当会会員だけでなく、手賀沼流域に暮らす全ての市民、学生、そして、関係自治体の方々にも、広く共有していただき、この「手賀沼の鳥」が、今後『美しく住みよい環境の明日の手賀沼~人と鳥が共

生できる～』に関心を持ち、考えて、行動(実践)していく上でのヒントないし礎石になってほしい、との根源的な願いと編纂方針で貫かれた書物です。グラフや図表を多用し、見やすい構成になっているほか、手賀沼周辺で観察されたいろいろな鳥達を会員が撮った多くの美しいカラー写真で紹介していますので、ぜひ多くのおみなさまのご一読をお願いする次第です。

(田中功 記)

[一般編]

40周年を記念して、今回新たにデータ編とは別に一般向け小冊子として、『四季の手賀沼周辺散歩～野鳥と草木と風景と～』をいよいよ3月に発刊致します。

手賀沼周辺散歩にふさわしいと思われる7コースを厳選し、30名を超える会員自らが約1年間毎月のように調査散歩を繰り返し、その結果を春・夏・秋・冬・・・四季折々の野鳥と草木と風景として綴ったものです。

手軽に野鳥と親しむ散策コース・・・手賀沼遊歩道

バラエティ豊かな鳥と草木が楽しめる・・・手賀沼遊歩道
 山野の鳥が多種類見られる・・・あけぼの山周辺
 コブハクチョウ、ゴイサギ、ハヤブサ等が見られる・・・北柏ふるさと公園
 ～ヒドリ橋
 森の鳥と水辺の鳥が見られる・・・手賀の丘公園・染井入落
 里山の自然が楽しめる・・・岡発戸・都部の谷津田
 ヨシゴイ、タカ類などが見られる・・・浅間橋周辺

文章も写真も会員が中心となってまとめた手作り作品です。

手賀沼周辺を多くの市民が散歩されていますが、この本の情報から新しい自然との出会いを経験し、わくわくするような素晴らしい発見散歩になることを祈っております。

会員の皆様もこの小冊子を片手に『四季の手賀沼周辺散歩』の世界にぜひ飛び込んで頂きたいと思います。

(野口隆也 記)

鳥 だ よ り

- | | |
|--|---|
| 11.13 [手賀沼] おとり(1) 上沼 1
染谷迪夫・木村稔・田中功 | 飯泉仁・飯泉久美子 |
| 11.13 [手賀沼] ミガ(1) 上沼 1
染谷迪夫・木村稔・田中功 | 11.27 [千間橋] ｺｯｶﾞﾝﾌﾞﾙ(1) 13:20、水田に小鳥齧しのパイプにとまり、バツタを待ち伏せて採餌 飯泉仁・飯泉久美子 |
| 11.13 [手賀沼] ミア伊(1) 上沼 1
染谷迪夫・木村稔・田中功 | 11.27 [片山新田先手賀沼] 比(1) 12:46、沼南側の上空を旋回 飯泉仁・飯泉久美子 |
| 11.24 [下沼田] ｽｽ(1) 鉄塔下部より飛び立つ 鈴木静治 | 11.27 [箕輪新田先手賀沼] ミガ(1) 12:00、東から出現し、西方向に渡去 飯泉仁・飯泉久美子 |
| 11.24 [北新田] ハヤブサ(1) 電柱上 中野久夫 | 11.27 [片山新田先手賀沼] ｼﾞﾝｺｲﾌﾞﾘ(10) 12:17、水面を移動 飯泉仁・飯泉久美子 |
| 11.24 [北新田] ｺｯｶﾞﾝﾌﾞﾙ(1) 電柱から飛去 中野久夫 | 11.30 [酒井根 6丁目 下田の森] 材カ(1) 9:55、カラスに追尾されながら出現 飯泉仁 |
| 11.24 [発作] ｺｯｶﾞﾝﾌﾞﾙ(1) 上空でカラスに追い回される 鈴木静治 | 11.30 [手賀] ｺｯｶﾞﾝﾌﾞﾙ(1) 11:34、電線に止まっていた 飯泉仁・飯泉久美子 |
| 11.25 [北新田] 比(1) 越流堤横柳上 中野久夫 | 11.30 [手賀] ｽｽ(1) 11:34、電線に止まっていた 飯泉仁・飯泉久美子 |
| 11.27 [光ヶ丘 広池学園] ｺｯｶﾞﾝﾌﾞﾙ(1) 10:13、幼稚園の脇の木の天辺に止まっていた 飯泉仁 | |
| 11.27 [千間橋] ｽｽ(1) 13:20、上空を旋回 | |

- 11.30 [手賀] 比¹ (1) 11:36、上空を旋回
飯泉仁・飯泉久美子
- 11.30 [片山] 凧(1) 11:23 道路脇の街灯
の上に止まっていた 飯泉仁・飯泉久美子
- 12.02 [北新田] 凧(1) 冨ゲンボウ(1)に追
われ飛去 中野久夫
- 12.05 [浅間前] ハブサ(1) 鉄塔上部より飛
び立ちカラス 2羽を攻撃する 鈴木静治
- 12.05 [浅間前] 冨ゲンボウ(1) 電柱上より
田に飛び立つ 鈴木静治
- 12.05 [酒井根 6 丁目 下田の森] シロ(1)
9:51、鳴きながら移動 飯泉仁
- 12.07 [千間橋] 冨ゲンボウ(1) 鉄塔下部に
とまる 鈴木静治
- 12.07 [千間橋] 材カ(1) 田の上でコミミ
ズクと争った後、杭にとまるが、カラス
の群れに追われる 鈴木静治
- 12.07 [発作] 凧(1) 鉄塔下部にとまる
鈴木静治
- 12.07 [千間橋] コミズク(1) 田の上でオオ
タカと争った後、水道橋方面に飛び去る
鈴木静治
- 12.08 [北新田] 材カ(1) 越流堤横柳上
中野久夫
- 12.08 [北新田] 凧(1) 樹上 中野久夫
- 12.09 [千間橋] 冨ゲンボウ(1) 鉄塔頂上に
とまる 鈴木静治
- 12.09 [千間橋] 凧(2) 田の杭、鉄塔下部
にとまる 鈴木静治
- 12.10 [上沼田] 凧(1) 田の杭にとまる
鈴木静治
- 12.10 [中沼田] 材カ(3) 低地集水路の葦
にとまる 鈴木静治
- 12.10 [中沼田] 凧(1) 田の杭にとまる
鈴木静治
- 12.10 [千間橋] 冨ゲンボウ(2) 鉄塔・田の
杭にとまる 鈴木静治
- 12.10 [岡発戸新田] 凧(1) ハシブトガラ
スに上空で追いかける 鈴木静治・
谷山晴男・猪爪敏夫・間野吉幸
- 12.11 [下沼田] 凧(1) 塔の下部にとまる
鈴木静治
- 12.11 [千間橋] 冨ゲンボウ(1) 田の杭にと
まる 鈴木静治
- 12.11 [千間橋] 凧(1) 田の杭にとまる
鈴木静治
- 12.11 [手賀沼] ミカ¹ (1) 下沼 1
染谷迪夫・木村稔・田中功
- 12.11 [手賀沼辺] ハブサ(1) 上沼 1
染谷迪夫・木村稔・田中功
- 12.12 [下沼田] 凧(1) 塔の下部にとまる
鈴木静治
- 12.12 [浅間前] 凧(1) 田の杭にとまる
鈴木静治
- 12.12 [酒井根 5 丁目] 材カ(1) 10:45、カ
ラスに追尾され、東方向から出現し西方
向に渡去 飯泉仁
- 12.12 [千間橋] 冨ゲンボウ(1) 塔の下部に
とまる 鈴木静治
- 12.12 [手賀新田] 比¹ (1) 東方向から出現
し、上空を旋回 飯泉仁・飯泉久美子
- 12.12 [手賀新田] 冨ゲンボウ(1) 14:43、カ
ラスに追尾されて出現
飯泉仁・飯泉久美子
- 12.12 [大井新田先手賀沼] ミカ¹ (1) 11:41、
水面の杭に止まっていた
飯泉仁・飯泉久美子
- 12.12 [箕輪新田先手賀沼] ミカ¹ (1) 12:25、
水面の杭に止まり、魚を捕食
飯泉仁・飯泉久美子
- 12.13 [布佐平和台] 冨ゲンボウ(1) 住宅上
空を旋回する 鈴木静治
- 12.15 [北新田] 冨ゲンボウ(2) 電柱上
中野久夫
- 12.15 [北新田] 冨サ¹ (1) 4号排水路で
中野久夫
- 12.15 [千間橋] 材カ(1) 河原の薄の穂の
実を啄ばむ 鈴木静治
- 12.16 [高野山] 凧(1) 丘の上空でカラス
に追われる 鈴木静治
- 12.16 [水道橋] 材カ(2) 川岸のセイタカ
アワダチソウにとまる 鈴木静治
- 12.16 [千間橋] ハブサ(1) 鉄塔頂上にとま
る 鈴木静治
- 12.16 [千間橋] 冨ゲンボウ(1) 田の杭にと
まり獲物を食べる 鈴木静治
- 12.16 [片山新田] 冨カ(1) 沼岸の葦原上
を飛ぶ 鈴木静治
- 12.16 [片山新田] ミカ¹ (1) 沼の杭にとま
る 鈴木静治
- 12.16 [高野山] シロ(1) 椋の木の枝にと
まる 鈴木静治
- 12.18 [上沼田] 凧(1) 田の杭にとまる
鈴木静治

- 12.18 [浅間前] ㇿㇿㇿ(1) 電柱より田に飛び出し杭にとまる 鈴木静治
- 12.18 [中沼田] ハㇿㇿ(1) 田でㇿㇿㇿ(1)と争う 鈴木静治
- 12.18 [布佐] ㇿㇿ(1) 森の高木の枝にとまる 鈴木静治
- 12.18 [水道橋] ㇿㇿㇿ(1) 田の杭にとまる 鈴木静治
- 12.18 [水道橋] ㇿㇿㇿ(1) 田の上を飛びまわる 鈴木静治
- 12.19 [下沼田] ㇿㇿ(1) 田の高い草にとまる 鈴木静治
- 12.19 [上沼田] ハㇿㇿ(1) 飛んで来て、電柱にとまり休む 鈴木静治
- 12.19 [中沼田] ㇿㇿㇿ(1) 田の杭にとまる 鈴木静治
- 12.19 [発作] ㇿ(1) 川の上空を飛ぶ 鈴木静治
- 12.19 [千間橋] ㇿㇿ(1) 鉄塔より夕焼けの空に飛び立つ 鈴木静治
- 12.20 [北新田] ㇿㇿ(1)排水栓上 中野久夫
- 12.21 [江蔵地] ㇿㇿㇿ(1) 田の電柱より飛び立つ 鈴木静治
- 12.21 [北新田] ㇿㇿ(1) 電柱から飛去 中野久夫
- 12.21 [北新田] ハㇿㇿ(1)電柱上 中野久夫
- 12.21 [江蔵地] ㇿㇿㇿ(2) 木の繁みで鳴く 鈴木静治
- 12.26 [下沼田] ㇿㇿ(1) 鉄塔下部にとまる 鈴木静治
- 12.26 [中沼田] ㇿㇿ(1) 葦の穂先にとまる 鈴木静治
- 12.26 [千間橋] ㇿㇿㇿ(1) 田で獲物を食べる 鈴木静治
- 12.26 [中沼田] ㇿㇿ(2) 14:26、電柱に1羽、上空を旋回していた個体が1羽 飯泉仁・飯泉久美子
- 12.27 [布佐] ㇿㇿㇿ(1) 河原で停飛しながら飛ぶ 鈴木静治
- 12.27 [布佐] ㇿㇿ(1) 公園の上を旋回しながら飛ぶ 鈴木静治
- 12.28 [北新田] ㇿㇿ(1) 電柱から飛去 中野久夫
- 12.28 [北新田] ハㇿㇿ(1) 畔上 中野久夫
- 12.28 [北新田] ㇿㇿㇿ(1) 4号排水路で 中野久夫
- 1.01 [布佐平和台] ㇿㇿ(1) 歩道上を低空で滑空する 鈴木静治
- 1.01 [北新田] ㇿㇿㇿ(1) 4号排水路で 中野久夫
- 1.01 [大井新田先手賀沼] ㇿㇿ(1) 沼水面の杭に止まっていた 飯泉仁・飯泉久美子
- 1.01 [片山新田先手賀沼] ㇿㇿㇿ(1) 葦原上空を旋回 飯泉仁・飯泉久美子
- 1.01 [片山新田先手賀沼] ㇿㇿ(1) 14:30、水面の中のすだてに止まって周囲を警戒 飯泉仁・飯泉久美子
- 1.01 [片山新田先手賀沼] ㇿㇿ(1) 14:30、電柱の天辺に止まって周囲を警戒 飯泉仁・飯泉久美子
- 1.01 [片山新田先手賀沼] ㇿㇿㇿㇿ(1) 15:00、ホオジロを追尾しながら水田上を低空で追尾 飯泉仁・飯泉久美子
- 1.02 [江蔵地] ㇿㇿ(1) 河原から川を横断し対岸まで飛ぶ 鈴木静治
- 1.03 [下沼田] ㇿㇿㇿ(1) 田の電線にとまる 鈴木静治
- 1.04 [布佐平和台] ㇿㇿㇿ(1) 上空高く旋回し飛び去る 鈴木静治
- 1.04 [北新田] ㇿㇿ(1) 電柱から飛去 中野久夫
- 1.06 [千間橋] ㇿㇿㇿ(1) 飛ぶタヒバリ群れを追う 鈴木静治
- 1.06 [中沼田] ㇿㇿ(5) 葦の穂先にとまる 鈴木静治
- 1.06 [中沼田] ㇿㇿ(1) カワラヒワの近くの電柱に仲良くとまる 鈴木静治
- 1.06 [片山新田] ㇿㇿㇿ(1) 葦原上を滑空する 鈴木静治
- 1.08 [水道橋] ㇿㇿㇿ(1) 電柱上にとまる 鈴木静治
- 1.08 [中沼田] ㇿㇿ(5) セイタカアワダチソウ・葦にとまる 鈴木静治
- 1.08 [中沼田] ハㇿㇿ(1) 電柱上にとまる 鈴木静治
- 1.08 [北新田] ㇿㇿ(1) 電柱から飛去 中野久夫
- 1.08 [北新田] ㇿㇿㇿ(1) 4号排水路で 中野久夫
- 1.08 [手賀沼沿い] ㇿㇿㇿ(1) 下沼1 染谷迪夫・木村稔・田中功
- 1.08 [手賀沼沿い鉄塔上] ハㇿㇿ(1) 上沼1 染谷迪夫・木村稔・田中功
- 1.09 [北新田] ㇿㇿㇿ(2) 鳴ながら西から

- 東へ飛翔 中野久夫
 1.10 [北新田] /刈(1) 電柱から飛去 中野久夫
 1.10 [北新田] ㇿㇿンボウ(1) 電線上 中野久夫
 1.10 [白山 3丁目] ヤガラ(1) 樹上を移動 中野久夫
 1.11 [水道橋] /刈(1) 田の杭にとまる 間野吉幸
 1.11 [水道橋] ヒ` (1) 川の上空を旋回する 鈴木静治
 1.11 [水道橋] ㇿㇿンボウ(1) 田の上空で停飛する 鈴木静治
 1.11 [中沼田] 材カ(5) セイタカアワダチソウにとまる 鈴木静治
 1.11 [北新田] 材カ(1) 2号排水路横樹上 中野久夫
 1.11 [北新田] ㇿㇿ` (1) 4号排水路で 中野久夫
 1.11 [岡発戸新田] ㇿカ(1) 沼岸の葦原を滑空する 鈴木静治・谷山晴男・猪爪敏夫・間野吉幸
 1.11 [岡発戸新田] ㇿㇿンボウ(1) 道路脇の電柱にとまり獲物を狙う 鈴木静治・谷山晴男・猪爪敏夫・間野吉幸
 1.12 [古戸] /刈(1) 河原の木の上部にとまる 鈴木静治
 1.12 [浅間前] ㇿㇿンボウ(1) カラス 3羽に追われる 鈴木静治
 1.12 [布瀬新田] /刈(1) 電柱上にとまる 鈴木静治
 1.12 [北新田] /刈(1) 電柱から飛去 中野久夫
 1.12 [北新田] ㇿㇿンボウ(1) 電柱上 中野久夫
 1.12 [北新田] ㇿㇿ` (1) 4号排水路で 中野久夫

今回寄せられた鳥の全種名

<山野の鳥>

アオジ、アカハラ、ウグイス、エナガ、オオジュリン、オオタカ、オナガ、カシラダカ、カワラヒワ、キジ、キジバト、キセキレイ、コイカル、コゲラ、コチョウゲンボウ、コミミズク、シジュウカラ、ジョウビタキ、シロハラ、スズメ、セグロセキレイ、セッカ、タヒバリ、チュウヒ、チョウゲンボウ、ツグミ、トビ、ノスリ、ハイイロチ

ユウヒ、ハクセキレイ、ハヤブサ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、ヒバリ、ヒヨドリ、ホオアカ、ホオジロ、ミヤマガラス、ムクドリ、メジロ、モズ、ヤマガラ、ルリビタキ

計 43 種

<水辺の鳥>

アオサギ、アジサシ s p、イソシギ、イソヒヨドリ、ウミアイサ、オオバン、オカヨシガモ、オシドリ、オナガガモ、カイツブ

リ、カルガモ、カワウ、カワセミ、カンムリカイツブリ、キンクロハジロ、クイナ、クサシギ、ゴイサギ、コガモ、コサギ、コチドリ、コハクチョウ、コブハクチョウ、セグロカモメ、ダイサギ、タゲリ、タシギ、ハシビロガモ、ハジロカイツブリ、バン、ヒドリガモ、ホシハジロ、マガモ、ミコアイサ、ミサゴ、ユリカモメ、ヨシガモ	今回の投稿者の総投稿件数	
	飯泉久美子	3
	飯泉仁	283
	飯泉仁・飯泉久美子	265
	木村稔	1
	鈴木静治	289
	鈴木静治・谷山晴男・猪爪敏夫	
	・間野吉幸	48
	鈴木静治・中根忠	1
	染谷迪夫・木村稔・田中功	80
	田中功	1
	中野久夫	55
	間野吉幸	15
計 37種	総計	1041
合計 80種		
<番外種>		
エジプトガン、カワラバト、バリケン		

(浅井久)

【お知らせ】記念誌の頒布方法

40周年記念誌(データ編・一般編)を会員(家族会員は除く)各位に頒布いたしますが、頒布方法として、下記の要領で行いたいと思います。

- 1 3月11日の定例探鳥会るとき
 - 2 3月13日～18日の記念写真展の会場(けやきプラザ2階ギャラリー)で
 - 3 3月18日の記念講演会の会場(水の館3F研修室)で
- 会員(家族会員は除く)には、記念誌データ編1冊、一般編1冊は無料で、お渡し致します。それ以外は有料です。データ編は1冊 2,000円、一般編は1冊 500円です。なるべく上記1・2・3の方法で頒布したいと思いますので、宜しくご協力をお願いいたします。

【お断り】

「会員便り」は便り低調のため本号では、割愛しました。奮ってのお便りをお待ちします。新入会員紹介、ご寄附の報告はありませんでした。

ほーほーどり No. 225 (2012年3～4月号)

発行 2012年3月1日
 発行人 間野吉幸
 編集人 猪爪敏夫、小玉文夫、佐々木隆、野口紀子、松本勝英、宮下三禮
 事務局 染谷迪夫 〒270 1154 我孫子市白山 1-9-4 Tel: 04 7182 3972
 URL <http://abikoyacho.org/>
 郵便振替 00140-2-647587 我孫子野鳥を守る会
 会費 年会費 2,000円(大学生・高校生 1,000円、中学生以下 500円、家族会員 無料)